

## 診療上の情報公開文書

実施内容	せん妄に対する薬物療法における抗精神病薬の使用
医薬品名称 (一般名)	セレンース (ハロペリドール)、リスパダール (リスペリドン)、セロクエル (クエチアピンマレイン酸塩)、ジプレキサザイデリス (オランザピン)、トラゾドン、テトラミド (ミアンセリン)、シクレスト (アセナピンマレイン酸塩)、ロナセン (プロナンセリン)
診療科/病棟	全診療科
承認日	2023年10月13日
対象期間	承認後からマニュアルなどの見直しの必要性が生じるまで
対象患者	せん妄と診断された患者、およびせん妄が疑われた患者
目的・概要	<p>せん妄は、原疾患に身体的・環境的な負荷が加わり、一時的な意識障害や認知機能の低下が引き起こされた状態です。その頻度は高く、環境調整や薬物療法により対処します。薬物療法としては適応外使用ではあるものの抗精神病薬を中心にを行います。厚労省保医発 0928 第 1 号 23.9.28 付通知より、器質的疾患に伴う、せん妄・精神運動興奮状態・易怒性せん妄に対する処方としてハロペリドール、クエチアピン、リスペリドン、ペロスピロンが記載され、社会的にも認知されています。ガイドラインや文献、書籍等においても、抗精神病薬が治療選択肢として記載されています。</p>
予想される不利益と対策	<p>各薬剤の添付文書に記載された用法用量に準じて治療を行うため、一般的に想定される副作用と同等と考えられます。副作用が発現した場合、通常の治療にて対応を行い、必要に応じて各専門医とともに治療にあたります。</p>
問合せ先	JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 検査治療を担当している各診療科の医師・薬剤部・医療安全管理室 電話：0565-43-5000 (代表)

作成日 2023年10月1日